



総合周産期母子医療センター開設13周年を迎えて



明けましておめでとうございます。総合周産期母子医療センターが開設されて、満13年が経ちました。昨年暮れに「妊婦加算」凍結のニュースが流れました。「妊婦加算」については、「国は少子化対策を行っていると一言いながら、合意もないまま妊婦税を乗せするの？」とマスコミでも大きく報じられていました。確かに「妊婦加算」は、十分な説明もなく、いつの間にか始まっていたというのが実感だと思います。

産科医療の現場で働いていると、妊娠のリスクが年々高くなっていると感じます。妊婦さんの高齢化は増々進んでいます。年をとれば身体は古くなり、次第に妊娠に適した状態ではなくなります。また以前であれば持病があるので妊娠できなかった女性も妊娠ができるようになって来ました。しかし、妊娠は女性に身体的・精神的な大きな負担をかける変化です。産後1年間まででみると、妊娠に関連した病気で毎年100人以上の女性が亡くなっています。妊娠・出産は命がけの危険なイベントといえます。もともとリスクを持っている妊婦さんは、さらに危険性が高くなります。

妊婦さんの治療には、いつも以上に慎重になる必要があります。たとえば、妊婦さんに投薬する場合には、妊婦さん自身とお腹の中にいる赤ちゃんの両方に配慮する必要があります。妊婦さんに投与された薬の多くは胎児に移行します。胎児に移行した薬は、胎児に奇形を引き起こす(催奇形性)リスクと胎児の発育を阻害したり状態を悪化させたりする(胎児毒性)リスクを引き起こす危険性があります。一方、妊婦さん自身の身体も妊娠中に変化して行きます。妊娠中は赤ちゃんを育てる子宮に酸素と栄養を送らなければならないので、血液が1.4倍に増えます。身体の中の水分が増えますので、心臓も頑張るし水分を調節する腎臓はフル稼働です。また赤ちゃんに送る栄養を産生する肝臓もフル稼働します。このような変化は他の臓器でも起るため妊娠前に使われていた薬の量では十分な治療ができなくなることもあります。胎児と妊娠による身体の変化のため、妊娠していない時とは異なった治療が必要になる場合があります。「妊婦さんは診ません、妊娠しているので薬は出せません」と言われることもしばしば起こります。産婦人科医は妊婦さんの変化や胎児のことを知っているのだから、妊娠している人の病気はすべて産婦人科で診ればよいと思われるかもしれませんが、確かに、産婦人科医は胎児にとって安全な薬かどうかの判断は可能ですし、妊婦さんの身体が変化していることは知っています。しかし、多くの場合、妊婦さんが罹っている病気を治す専門家ではありません。病気に応じて専門の先生に診てもらう必要があります。妊婦さん自身の健康が損なわれれば、妊婦さんから酸素や栄養をもらっている胎児の状態も悪くなります。胎児が健康に育って生まれてくるためには、妊婦さんが健康でなければなりません。

妊婦さんの健康を守るためには、様々な専門家の先生に診てもらう必要があります。「妊婦加算」は妊婦さんの診療をする医師の後押しとなる可能性があり、妊婦さんと赤ちゃんのためには悪いことではなかったと思います。ただ、十分な説明と費用の負担の仕方には配慮が必要だったかもしれません。

誰かが負担する必要があるお金ですが、自分では無理! というのも正直なところだと思います。少しずつみんなが負担し支え合って、生まれてくる子ども達の将来の負担にならない様にして、子ども達に良い社会をバトンタッチして行きたいですね。

本年もよろしくお願い致します。

総合周産期母子医療センター長 佐世 正勝



「おぎゃー!!!」

in 助産院 Sun

助産院でお産ができる方は、

- ※ 妊娠経過が正常な経産婦さんで、医師より助産院でのお産が可能と言われた方
- ※ ご本人とご家族が、助産院でのお産を希望されている方
- ※ 当病院の産科外来を受診されている方です。

院内助産院でお産をされたお母さんにお話を伺いました。今号は10月に出産された凜ちゃんのお母さんです。

現在の心境をお聞かせ下さい!

生後2週間の時に、上のお兄ちゃんのRSウイルスをもらい入院することに0元になり退院できてからは、家族揃って過ごせる時間と健康な身体でいられることがいかに有難いか考えさせられ、今賑やかな毎日を送れていることに幸せを感じています♡

ご家族の反応は?

【お兄ちゃん】
赤ちゃんがえりをしている手がかかりますが、妹のことが気になって、可愛くて仕方ないみたいです♡

「助産院で出産しよう!」と思われた理由は?

友人のススメで上の子も立ち会いができること聞き、助産院で産むことに決めました。

「いざ、お産!」から過ごされてみていかがでしたか?

前日におしるしがあり、翌日明け方に陣痛がきてから1時間ちよつとのスピード出産だったので家族の立ち会いは叶わず、フリースタイルでの分娩も堪能する余裕はありませんでしたが、気持ちには少し余裕があったようで、『赤ちゃんが自分自身で生まれてこようとしているんだ♡』と強い生命力を感じられた気がします! 分娩台や点滴がなく、和室の畳の上で産める環境は自然体でとても良かったです!

「助産院で出産を!」と検討中の皆さんへ、メッセージをお願いします。

スタッフの方にはどんな悩みにも丁寧に対応してもらえ、すごく話しやすくて心が和み、楽しい入院生活が送れました! 畳の部屋は上の子が気軽に来れて魅力的でした。特別カゼをひいていなければ上の子もお母さんと一緒に寝泊まりされてもいいですよと声を掛けてもらったことは、涙が出るくらい嬉しかったです! 『何度でも助産院で産みたい!』と思えるほどオススメです(笑)

「助産院で出産を!」と検討中の皆さんへ、メッセージをお願いします。

スタッフの方にはどんな悩みにも丁寧に対応してもらえ、すごく話しやすくて心が和み、楽しい入院生活が送れました! 畳の部屋は上の子が気軽に来れて魅力的でした。特別カゼをひいていなければ上の子もお母さんと一緒に寝泊まりされてもいいですよと声を掛けてもらったことは、涙が出るくらい嬉しかったです! 『何度でも助産院で産みたい!』と思えるほどオススメです(笑)

助産院Sunスタッフより

「凜りん」

しっかりと自分の意志を持てる芯の強い たくましい子になってほしい♡
という願いを込めました。

りん
凜ちゃん
平成30年10月12日 生まれ

やっとあえたね♡

来院からわずか30分ほどでの、「超スピード出産」でした。慌ただしい中でもとって落ち着いておられ、こちらもお産に立ち会わせて頂くことができました。あつという間だったので、ゆっくりフリースタイルを味わえなかったかもしれませんが、いいとこ取りで、気持ち的には存分に体験してもらえたのではと思います。ご家族の愛情に包まれて、すくすくと育っておられるご様子、時々元気なお顔をみせてもらえたら嬉しいです。(近藤)

センター稼働状況

分娩数	57件	緊急帝王切開	4件
母体搬送	6件	NICU稼働率	73.4%
新生児搬送	1件	MFICU稼働率	98.9%

(平成30年12月)

「今年の主役は『亥』!」

by. お飾り隊

編集後記

あけましておめでとうございます。皆さま、お正月はゆっくり過ごされましたか? 本年もよろしくお願ひいたします。

(C.K☆N.S☆Y.M☆K.H.)